

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成16年度		
総合計画	大項目	05	住民主体の協働のまちづくり
	中項目	01	住民主体で進めるまちづくり
	小項目	03	ボランティア・NPO
事務事業名	02	ボランティア活動支援事業	
根拠法令・例規等			備前市まちづくり基本条例
問			担当課(室) まちづくり推進課
合			職・氏名 協働推進係長 竹林 幸作
先			電話 0869-64-1806
このシート作成に要した時間			3.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	ボランティア活動に関心のある方
目的(何のために)	ボランティア活動の推進と啓発
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動への参加者を増やし、市政への参画と協働のまちづくり推進する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	人材育成事業	ボランティア活動を担うリーダーなどの人材育成事業。	
	ボランティア・NPO育成事業	ボランティア・NPOとの協働と活動支援。	
	ボランティア人材バンクシステム構築	市民・地域活動などに貢献いただく人材バンクの構築。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)	30	30	30
ボランティア団体数		実績値(B)	23	24	到達目標値
		達成率(B/A)	76.67%	76.67%	80.00%
成果指標設定の考え方・式や説明					
協働のまちづくりをすすめる中で重要な役割を担っているボランティア団体を支援し、ボランティア活動の意識高揚を図る。					

Check

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
効率性の評価	コスト		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A~E> C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	協働のまちづくりをすすめる中で重要な役割を担っているボランティア団体を支援し、ボランティア活動の意識高揚を図る。また、継続した活動に対して感謝状を贈呈している。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		8		7
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	58	107
	事業費計		66	107	83
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源		66	107	83	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	ボランティア団体数	説明	市内で活動するボランティア団体		
	結果指標量	団体	23	23	24
	対前年比	%	-	100.0%	104.3%
	活動コスト	円	66,000	107,000	83,000
単位当たりコスト		2,870	4,652	3,458	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
岡山県ボランティア・NPO活動支援センター、社会福祉協議会などの関係機関等と連携してボランティア活動を活性化させていく必要がある。	評価区分 <A~E>	C
	妥当性	効率性

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	まちづくり基本条例に規定されている住民主体の協働のまちづくりを推進するため、ボランティア・NPO関係機関との連携・協働をすすめる必要がある。					